

ゾロ ルーフカウル for ヤマハトリシティ 取付・取扱説明書

取り扱いについてのお願い

■ ルーフ支柱について

ルーフ支柱は支柱を支えるための部品ですので、ルーフ支柱にもたれかからないでください。またバイクを起こすときや降車時の移動で支柱を持たないでください。

■ ワイパーの使用について

ゾロのスクリーンにはシリコン系ハードコートを施しており、ハードコートをしていないポリカーボネートに比べワイパーの使用による傷がつきにくくなっております。しかしながら、スクリーン表面が水に塗れていない状態でのワイパーの使用や、少雨時での必要以上のワイパーの使用はスクリーン表面のコーティング層を傷つける恐れがあります。スクリーンを長くご使用いただくために、ワイパーのスイッチはこまめに切り替えていただくことをお勧めします。

■ スクリーンのお手入れについて

スクリーンの表面を洗浄することで撥水性が保てます。スクリーン、ワイパーブレードの砂埃、汚れは中性洗剤を使用して濡らしたタオル等で拭いてください。また、研磨剤の使用はコーティングが剥がれ本来の性能が損なわれるためお止めください。また、自動車ガラス用コーティング剤の使用は成分に含まれている溶剤がシリコン系ハードコートに悪影響を及ぼす恐れがあるためお止めください。ヘルメットのシールド用のコーティング剤であれば使用可能な場合があります。

■ タイヤ空気圧について

タイヤ空気圧はルーフの振動に敏感に大きく影響します。操縦性に悪影響のない範囲でやや低めの設定をお勧めします。

■ メンテナンス時のルーフ取り外し要領

整備などでルーフを外す場合はスクリーン下側4本、ルーフ上面の4本のウェルナットとフロントカウル運転席側のクリップ2本を外すことで右画像のようにフロントカウル、スクリーン、ワイパー、ルーフを一体で簡単に外すことができます。またウェルナットのゴムが穴に残ったままですとゴムが引っかかり取り外すことができませんのでラジオペンチで引き抜くか、穴の中に押し込んでください。(ワイパーコードのカプラーを忘れずに抜く)
※ゾロリアボックスを併用しない場合、支柱が自立しませんので取り外しの際は支柱が倒れないように保持してください。



■ ウェルナットに関して

ルーフカウルの取付に使用するウェルナットは、一度使用すると膨れて変形しますが、熱湯に漬けることである程度回復し、再利用することがあります。また変形が残ったものでも、ビードワックスや洗剤などを少量付けることで差し込み易くなりますが、ある程度時間経過した場合、再利用できないことを考えて、脱着の際は事前に新しいウェルナットをご用意ください。(一つ¥100で販売)

付属ビス等一覧

1	フロントブラケットの車体への取付	M 6六角フランジボルト20L …………… 4
2	スクリーンとフロントカウルとフロントブラケットの接続	M 5トラス25L (黒)、 ワッシャー、 ウェルナット…………… 6セット 調整棒…………… 1
3	フロントカウル運転席側左右の固定	M 5トラス25L (黒)、 ワッシャー、 ウェルナット…………… 1セット
4	ワイパーモーター取付用	M 5皿ビス15L …………… 3
5	スクリーンとルーフの接続	M 5トラス15L (黒)、 ゴムワッシャー、 ワッシャー、 フランジ付き緩み止めナット…………… 6セット
6	ルーフと支柱の接続	M 5トラス25L (黒)、 ワッシャー、 ウェルナット…………… 4セット
7	支柱用ブラケットまたは ブラケット兼用キャリア取付用	M 8皿ビス60L、 16φ×10φ×40Lスペーサー …………… 2セット (支柱ブラケットの場合) or 4セット (ブラケット兼用キャリアの場合)
8	ボックス取付用 (底面)	M 6トラス20L、 ワッシャー、 M 6緩み止めナット…………… 4セット
	ボックス取付用 (対支柱)	ウェルナットセット…………… 2セット
9	レインモールの接着	瞬間接着材

必要工具

- ・内貼りはがしまたはプラスチックヘラ
- ・電動ドリル
- ・ステップドリルまたはホールソー (18~20mm)
- ・ニッパー
- ・10.0mm キリ
- ・一般整備工具 (ボックスレンチ、スパナ、ドライバー等)

取付説明



01 スクリーンをはずす



02 左右のミラーをはずす
右ミラーは逆ねじになっているので注意する。

ハンドルカバーの取り外し



03 矢印位置のビスをはずす（2ヶ所）



04 矢印位置のビスをはずす（2ヶ所）



05 矢印の位置に爪があるので、（→06に続く）





06 前の爪の下側を押さえながらハンドルカバーをはずす



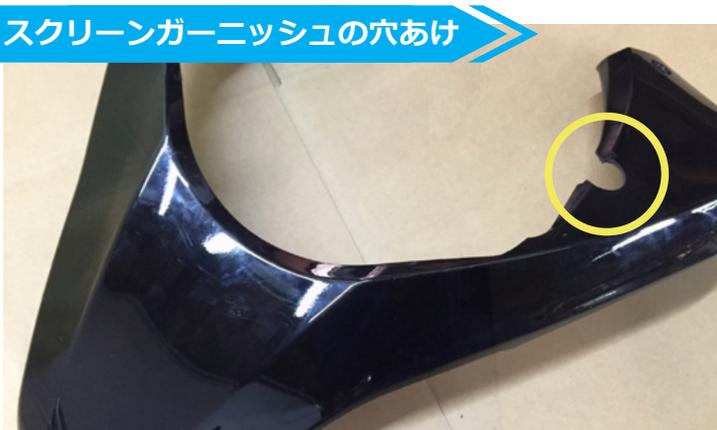
07 スクリーンガーニッシュの両側のビスをはずす
(2ヶ所)



08 写真の位置をヘラでこじるようにしてはずす



09 写真の位置をヘラでこじるようにしてはずす
(反対側も同様に)



10 写真の位置にステップドリルやホールソーを使用して配線用の18~20mmの穴を開ける

11項の写真を参照して、裏側に穴を開ける。

※裏側の爪を削らないように注意する。



11 穴のサイドをニッパー等で切る



12 ハンドル側からワイパースイッチの線を通す



13 メーター横の隙間から取り出す
ワイパースイッチ線の脱落防止のため15項の写真のようにテープで仮止めする。



14 バイク側の予備電源用カプラーと接続する



15 ワイパースイッチ線を12項で加工した切り欠き部分に納め写真の位置を押さえてスクリーンガーニッシュをはめ込む（線を挟まないように注意する）



16 スクリーンガーニッシュの両端を押さえてはめ込む



17 スクリーンガーニッシュ両端のビスを締める(2ヶ所)

ハンドルカバーの取り付け



18 ハンドルカバーをはめ込む
ワイパースイッチの線を挟まないように注意する。



19 ワイパースイッチをミラー根元に取り付けられるだけの長さの線を引き出しておく
※線を引き出す長さが不十分だとハンドルを切るたびに線が引っ張られ断線に繋がる恐れがあります。



20 ハンドルカバーのビスを締める（2ヶ所）



21 ハンドルカバーのクリップをとめる（2ヶ所）

フロントブラケットの取り付け



22 フロントブラケットにワイパースイッチの線を通す



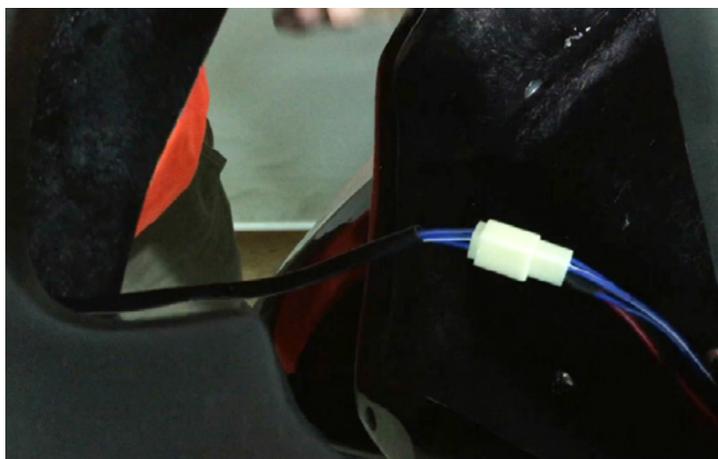
23 4ヶ所すべての六角ビスを手で仮締めしてから本締めする



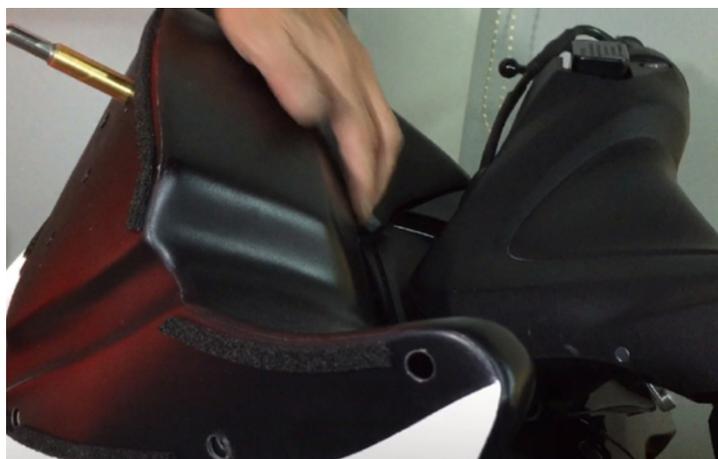
24 ワイパーモーターのクリップナットのずれをドライバー等で調整する



25 ワイパーモーターとフロントブラケットをビスでとめる（3ヶ所）



26 カプラーをしっかりと奥まで差し込んでつなぐ



27 ワイパーの線を挟まないようにしてフロントカウルを被せる



28 ワイパーモーターのシャフトにテープ等で目印をつけ、キーをON、ワイパースイッチをONにして作動確認し、ワイパースイッチをOFF、ワイパーが定位置停止したことを確認してからキーをOFFにする

※必ず定位置停止したことを確認する。



29 スクリーンをフロントカウルに取り付ける



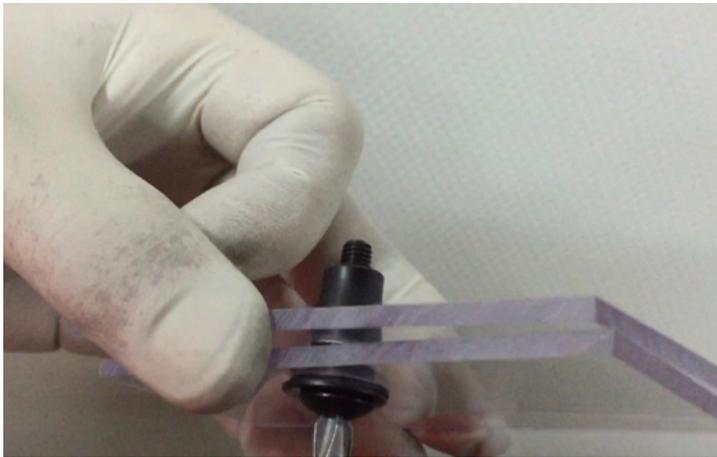
30 下側2本のウェルナットをとめる

残りのウェルナットはレインモールの取り付けが終わってから作業する。(ウェルナット取扱いについては下記参照)

ウェルナット取扱い方法



ウェルナットは締めるとゴムが膨らんで固定される。締める際には隙間が開かないように押さえて閉めること。



このように隙間が開いたまま締めてしまうと走行中の振動や軋みの原因となるため注意する。

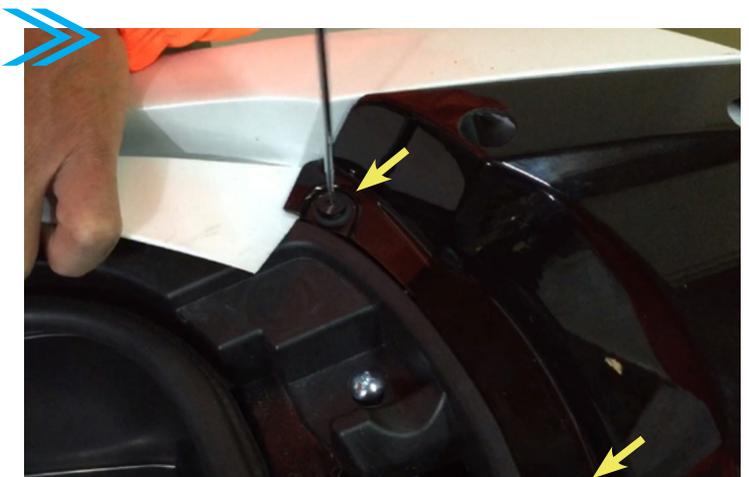


ウェルナットを穴に差し込む際は写真のようにビスとワッシャー、ウェルナット（ゴム部分）が隙間なくついている状態で差し込む。



隙間が開いているまま穴に差し込むとウェルナットのツバが穴の内側に入り込んでしまい、振動や軋みの原因になるため注意する。

(隙間が開いている場合はドライバーで軽く締めて隙間をなくす。)



31 リアウィングカバーのクリップをはずす（2ヶ所）



32 真ん中あたりを後方に押しはせず



33 ホールソーやステップドリルを使用して、ゾロリアボックス併用の場合は4ヶ所、併用しない場合は2ヶ所に18～20mmの穴を開ける（16mmのスペーサーが通るための穴）

※穴の位置はリアウイングカバー裏面に印が入っています。



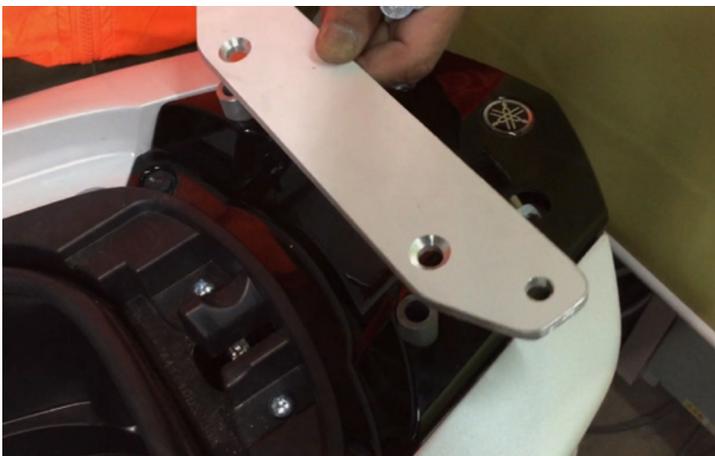
34 金具のボルトをはずす

※ルーフカウルのみ取り付けの場合は後ろの短い方の金具のボルトは外さない。



35 画像上の金具はそのままの位置において置き、下の金具はいったん取り出してリアウイングカバーに矢印の穴をクリップで止め、リアウイングカバーを元に戻す

※金具を中に落とさないように注意する。



36 ルーフカウルのみ取り付けの場合は写真の台座をスペーサーを使用してリアウイングカバー下の金具と併締めする（締めは太めのドライバー推奨）



37 リアボックス併用時はキャリアをスペーサーを使用してリアウイングカバー下の金具と併締めする（締めは太めのドライバー推奨）



38 ボックス併用時はルーフより先にボックスを取り付ける。ボックス底に4ヶ所ビスを差し込み、キャリア裏側からワッシャー、ナットでとめる



39 マットを敷く



40 支柱下端のナット、ワッシャーをはずして支柱の左右を間違えないように支柱のボルトをキャリアの穴に差し込む（支柱は左右で穴の位置が違うため注意。ルーフ接続用の穴が外側を向くようにする。）



41 ボックスと支柱をウェルナットでとめる



42 支柱下端のボルトをナットとワッシャーで締める
ナットのゆるみ止めにボルトがかり、かつゴム脚が少し圧縮、変形するまで締める（ボルトが2～3mm程度出る）
※ナットのゆるみ止め部分が下にくるようにとめる。



43 ウェルナットをあらかじめルーフの穴に差し込んでおき、ルーフを支柱の上に載せる
この時ルーフの前方部分がスクリーンの上に被らないように注意する。



44 ルーフと支柱をウェルナットで接続する（4ヶ所）
 ※ウェルナットを締める時はルーフと支柱をぴったりとつけて締める。ルーフと支柱の間に隙間ができた場合はウェルナットを緩めて締め直す。



45 スクリーンとルーフをビスでとめる（6ヶ所）

ルーフのみ取り付ける場合の手順



46 （1人で作業する場合）梱包時のダンボール等を使用して写真のように支えを作り（高さ1100mmにする）、前後左右を梱包用のガムテープ等で止める



47 ダンボールの裏を開かないようにテープでとめる



48 左右の下端をテープでとめる



49 ルーフの穴にウェルナットを軽く差し込み、ルーフを支えの上に載せルーフとスクリーンをビスでとめる

端の2ヶ所をとめれば他は支柱をつけてからでも作業できます。
 ※支えが倒れないよう注意して作業してください。
 ※二人以上で作業する場合はダンボールを使用せず、一人がルーフを持ち、もう一人がルーフとスクリーンをとめてください。



50 支柱下端のボルトを台座の穴に差し込み、支柱とルーフを接続する（4ヶ所）

※ウェルナットを締める時はルーフと支柱をぴったりとつけて締める。ルーフと支柱の間に隙間ができた場合はウェルナットを緩めて締め直す。



51 支柱下端のボルトをナットとワッシャーで締める
ゆるみ止めナットからボルトが1～2mm出るまで締める。

レインモールの取り付け



52 必ずレインモールの雨どい部分が外側になるように取り付ける



53 ゴム同士が引っ付いていることがあるので、その場合は指で引っ付いている部分を離す



54 一番下の穴より20mm上からレインモールを付ける

スクリーンを軽く手前に引いてスクリーンとフロントカウルの間隙を開けて取り付ける。



55 しっかりと奥まで押し込みながらルーフ後部まで取り付け、最後にレインモール全体をもう一度押さえる



若干角度をつけて切る

56 レインモールとルーフ後部のモールの上に隙間ができないように注意し、レインモールの上側が少しルーフ後部のモールに被るよう若干角度をつけてニッパーで切る



57 スクリーン下側のウェルナット2本を少し緩める（58の作業が終わったら再び締める）



58 フロントカウルを下から持ち上げ、フロントブラケットとの穴位置を合わせながらウェルナットを4つの穴に差し込む。全てのウェルナットを差し込んでから締める ※ドライバーの先を滑らせないように注意



59 ゴム板をアームとブレードの間に挟みこむ



60 ビスを差し込む



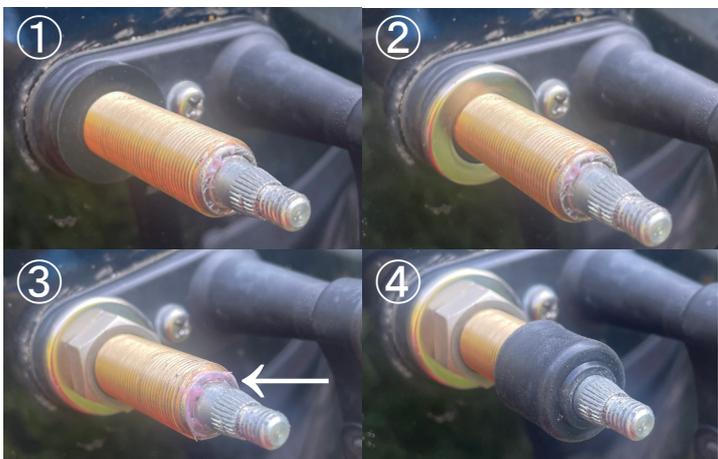
61 裏返してナットを取り付け、ビスの横穴に割りピンを差し込み、マイナスドライバー等で割りピンを左右に押し開く ※割りピンは必ず二股に分かれた側から入れる



62 小判型のゴム板を取り付ける(スポンジの貼ってある側がスクリーンと接するようにする)



63 ワイパーアーム根本を取り付けビスでとめる



64 ゴム、ワッシャー、ナット、ゴムの順に取り付ける
④のゴムは銀色のシャフトの根元に突き当てる。この時、矢印の位置にあるグリスは拭き取らないでください。(トップのネジ部分のみ付着した場合は拭き取る)



65 ブレードを正面から見てスクリーン右端から50mmの位置に来るようにセットする



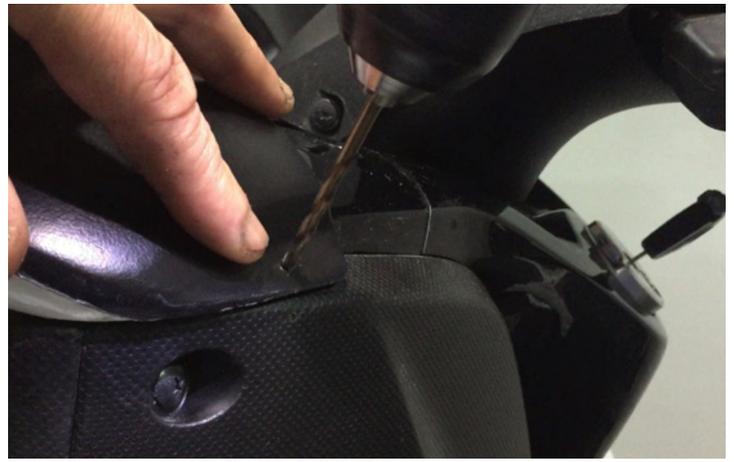
66 シャフトにアームをセットし、ナットで締め付ける(10mm)



67 ブレードが正面から見て垂直でない場合、矢印のビス2本を緩めアームの長さを調整して垂直にする。ビニール袋の切れ端など使ってビスを緩め、締めることで塗装剥がれ防止になります。



70 シャフトのナットを本締めする



71 フロントカウルをしっかりと押さえバイク側との隙間がない状態でフロントカウルに開いている穴に合わせてバイク側に 10 mmキリで穴を開ける

※隙間がある状態で行うと穴の位置がずれるので注意

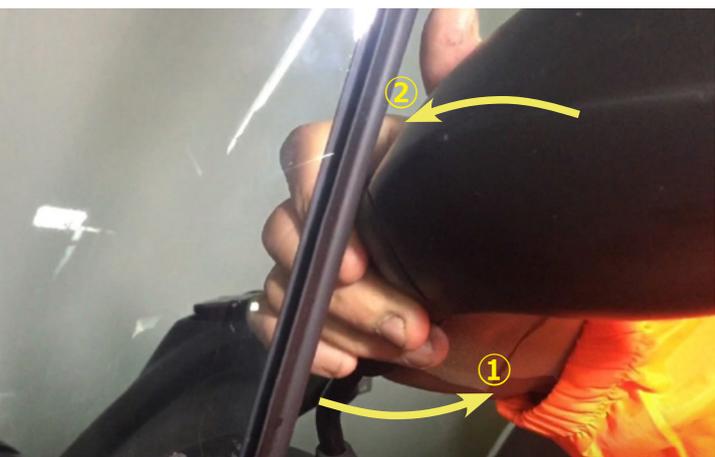


72 空けた穴にウェルナットを取り付ける



73 左右のミラーを取り付ける

左ミラーでスイッチボックスを共締めする。



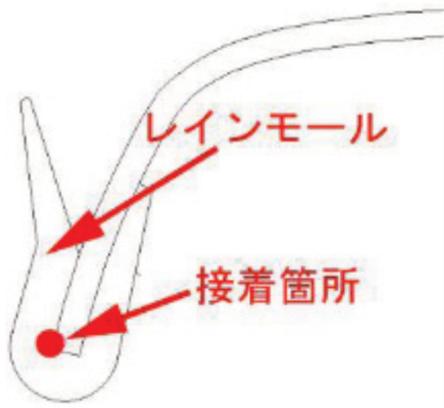
74 ミラーとスクリーンが干渉しないよう調整する

ハンドルを一杯まできり、①ミラーのアームの角度をを後方にずらし、②ミラーの角度を前方にずらす。③ミラーとスクリーンが干渉しないことを確認する。④シートに座りミラーの見え方をミラーの角度で調整する。ミラーの可動範囲で調整できない場合はアームをスクリーンに干渉しない範囲で前方に動かし、サイドミラーの角度を調整する。



75 スクリーンとルーフの接続部分のレインモールの隙間に充填材をつめる

スクリーンとルーフの僅かの段差の隙間から雨水が入り込み溝底を伝って途中で漏れだす場合があるため、わずかの隙間もないよう細い棒などで充填剤を押し込む。



76 レインモールとスクリーンを瞬間接着剤で接着する

モールをめくってレインモール底面（図参照）に接着剤を5cm 間隔で点付けする。この時接着材がはみ出さないように出し過ぎに注意する。（硬化時の温度によっては、はみ出した部分の接着材が白くなるため。）1か所付けるたびに、レインモールを下から押さえる。

※接着材がはみ出した場合は爪楊枝等であらかた取り除いてから乾いたティッシュで拭きとると白くならず仕上がります。

※点付けの幅が広すぎると、日が経ってから接着していない部分がたるむことがあります。

.....

以上で取付完了です。